

新年のご挨拶

会長 北山 富士子

新年あけましておめでとうございます

日頃より、役員の方々をはじめ会員の皆様には、管理栄養士・栄養士の職能団体であり、栄養・食事を通し幅広く県民の皆様の健康づくりに取り組む公益社団法人である福井県栄養士会の活動に、ご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。福井県や各種団体より多くの委託事業を頂きますが、皆様のご協力により実施できておりますことを感謝申し上げます。

さて、現代は高齢化が社会問題となっておりますが、高齢者が住み慣れた地域で可能な限り長く暮らしていけるよう、日常生活支援が必要となっております。栄養と食の専門職である管理栄養士・栄養士が、在宅訪問栄養指導および居宅療養指導等を通して他職種と共同しながら、栄養状態や食べることに問題を抱えた人々の力になることが求められており、現在その体制づくりを進めております。

また、本会では、管理栄養士・栄養士としての職業倫理を共有し、すべてのライフステージとあらゆる健康状態の人々に専門職として寄り添い、科学的エビデンスに基づいた常に適正な情報を県民の皆様へ伝え、健康と幸福の実現に寄与するため、生涯教育研修会をはじめとする研修会を開催しておりますので、自己研鑽の場として多くの方にご参加頂きたいと思っております。

最後になりましたが、本会の益々の発展のため、今年もどうぞよろしくお願いいたします。



平成29年度(公社)福井県栄養士会 年末懇親会

平成29年12月9日(土)に、ザ・グランユアーズ(天山の間)にて、公益社団法人福井県栄養士会年末懇親会が行われ、多数のご来賓の方にご出席いただきました。

北山会長、清水名誉会長の挨拶で始まり、ご来賓の方々にご挨拶いただきました。西川 一誠 福井県知事より「“日本一美味しい誉れ高きお米”という思いが込められた“いちほまれ”を、今後も県内外の方々に、あらゆる機会を通じて紹介をしていただきたい。また、来年の国体において、本県の選手が最高のパフォーマンスを発揮し活躍できるよう、福井県栄養士会の皆様には栄養面からのサポートをお願いしたい。」とのお言葉をいただきました。その後、新県民歌を全員で歌ったり、抽選会で楽しんだり和気あいあいと進行し、大盛況のうちに終了しました。

懇親会にご参加いただいた賛助会員の皆様、県内各地区・各職域から来られた多数の会員の皆様、ありがとうございました。次年度は、医療職域専門部が担当となります。



福井県知事
西川 一誠 様

来賓御芳名

福井県知事	西川 一誠 様
仁愛女子短期大学 副学長	島田 貢明 様
福井県健康福祉部部長	池田 禎孝 様
福井県健康福祉部健康増進課課長	宮下 裕文 様
福井県健康福祉部長寿福祉課課長	船木 麻央 様
福井県農林水産部食料産業振興課課長	岡本 吉央 様



賛助会員の皆様

おめでとうございます

平成29年度表彰 (敬称略)

◆厚生労働大臣表彰 栄養指導業務功労者

清水 淳子 (福井総合病院)

◆公益社団法人 日本栄養士会会長表彰

天野 美鶴 (医療法人厚生会 福井厚生病院)

伊藤 まみ (財団法人 中村病院)

大久保 祐子 (福井赤十字病院)

谷口 としえ (福井県済生会病院)

長谷川 美加 (地域活動職域)

原嶋 典子 (社会福祉法人 生喜会)

堀江 知香子 (医療法人池慶会 池端病院)

牧野 和枝 (地域活動職域)

見好 和枝 (医療法人博俊会 春江病院)



清水 淳子 氏

おめでとうございます

(公社) 福井県栄養士会が受賞！ 第15回福井県小児保健・久保賞

平成27年度に行ったアレルギー対応給食普及事業では、「こどもの食物アレルギー対応レシピ集」を作成し、それをを用いた研修会や調理実習なども行ったことに対して、「こどもの食物アレルギー対応支援活動」として、福井県小児保健協会より上記の賞を頂きました。

授賞式は、平成29年6月25日(日)、福井大学医学部附属病院 臨床研修センター 白扇会ホールで行われた、第59回福井県小児保健協会総会にて開催され、福井県栄養士会理事 池田 涼子 氏が会を代表して、久保賞を頂きました。



平成29年度 公益社団法人福井県栄養士会定時総会開催

平成29年5月27日に福井県国際交流会館において、「平成29年度公益社団法人福井県栄養士会定時総会」を開催しました。北山会長、清水名誉会長の挨拶に続き、ご来賓としてご臨席いただきました福井県知事 西川 一誠 様、仁愛大学副学長 野田 政弘 様よりご祝辞を賜りました。

本年新人会員22名を紹介した後、定款に基づいて1/2以上の会員の出席を得て有効に成立し議事に入りました。議長に高柳 厚子 氏、議事録署名人に谷口 良江 氏と佐々木 眞由美 氏を選出し、事業報告・収支決算等について審議し承認されました。また、平成28年度に引き続き理事を務める19名と日本栄養士会代議員4名の紹介を行い定時総会を終了しました。

◇ 特別講演

「地域包括ケアシステムにおける管理栄養士の役割 ～2018年診療・介護報酬同時改定の方向性を見据えて～」

講 師：慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 教授 三浦 公嗣 先生

座 長：医療法人池慶会 池端病院 院長 池端 幸彦 先生

三浦先生は、元厚生労働省老健局長であり、地域包括ケアシステム構築に携わった御経歴から、2018年の診療・介護報酬同時改定に向け、これからの管理栄養士の役割について、直近のデータを交えた実際的な内容の御講演をいただきました。地域を支えていくためのニーズの多様化や困難で複合した現在の高齢化社会では、支援自体の複雑化と支援体制が整っていても人口減少に拍車がかかることで、持続が困難になると話されました。



三浦 公嗣 先生

これまではライフステージに合わせた縦割り支援が中心だったが、問題を丸ごと解決するための包括的な支援が必要となること、つまり、“地域包括”とは、地域が抱える身近で緊急性のある問題をどう解決するかを考え、そのための体制を構築することであるといわれました。

管理栄養士は「栄養」の問題だけを解決すればよいのではなく、対象者の要望を汲み取り寄り添うスキルや、関連職種の動きを把握することも役割の一つとなり、広い視野を持ち業務にあたるのが重要であるとエールを送ってくださいました。このような“気づき”は全ての業務に共通する重要な要素で、次に何が起きるかを考えながら仕事をするのが今の業務を次に繋げるための一歩となること、このことを地域に置き換え、身近な問題を解決するために考えることこそが“地域包括ケア”であるのだと学びました。管理栄養士として、まずは「栄養」に関連した問題を把握し、その周辺の状況にも敏感になれるよう視野を広げ、“気づき”のある仕事を目指していきたいと強く思った御講演でした。

新人welcome研修会 開催

平成29年5月27日(土)

平成29年度総会当日の午前中に新人研修会が開催され、新人会員22名が参加しました。管理栄養士・栄養士として業務にあたるための基礎知識や注意事項について、清水名誉会長から具体的な事例をあげながら紹介がありました。その後、各職域毎に分かれて先輩管理栄養士を交えてのグループディスカッションを行い、日々の業務等について意見交換を行いました。



第7回 栄養管理・食育研究会

平成29年11月4日（土）
福井県教育センター4階大ホール

特別講演 「急性期病院から在宅まで、適切な栄養管理を円滑につなげるために」

講師：福井県立病院 内科医長 栗山 とよ子 先生

今年の特講演では、栗山 とよ子 先生をお迎えし、NST活動の取り組みや、管理栄養士に期待すること、実践していることを含めた実際的でわかりやすい内容の御講演をいただきました。まず、NST活動の中で管理栄養士が実践していることの紹介があり、①個人で関連著書を所有、②各自で「NSTノート」を作成し自己学習に努める、③NSTカルテには、病名や病態、検査、治療法などを理解し自分の言葉で簡潔に記載すること、等の姿勢で臨まれているとのことでした。栄養管理を行うには、対象者の病態を知りその上で栄養状態を適切に評価、根拠に基づいて必要栄養量を算出することが重要ですが、食事だけでなく経腸栄養や経静脈栄養も適切に立案できることが求められていることを強調されました。



研究データが揃っておらず不明なことも多いがん患者の栄養管理については、緩和治療期では、QOLを維持・改善すること、がん悪液質の発症・進行を防ぐ最大の治療方法は、早期の段階からの適切な栄養管理しかないということでした。一方終末期では、代謝性合併症を引き起こすリスクが高まることから代謝状況に応じた投与量に減量することも大切であること、メカニズムを含めた根拠のある栄養投与量の算出方法や食事提供における注意点等についても御教授頂きました。

最後に、退院後まで円滑に適切な栄養管理を繋げるためには、退院する前から転記先に応じた準備を行い、詳細な情報提供を行っている状況など御教示いただき、とても有益な御講演でした。

一般演題

（一般演題1）

（敬称略）

座長：仁愛大学人間生活学部健康栄養学科 池田涼子・福井県国体推進局 施設調整課 五十嵐めぐみ

①「ふくい健幸美食」認証による外食・中食等に対する食環境整備について

福井県嶺南振興局二州健康福祉センター 宮本 絵美

②給食の時間において提供する指導資料の活用

越前町立宮崎小学校 佐藤 佳代

③「学校給食調理コンテスト」を活用した食育への取り組み

福井市湊小学校 藤田 梨恵

④セルフエフィカシー測定を活用した大学生の野菜摂取量を向上させる具体的な方法について

仁愛大学 人間生活学部 健康栄養学科 佐藤 真実

（一般演題2）

座長：福井県立病院 栄養管理室 小寺 由美・福井大学医学部附属病院 栄養部 早瀬 美香

⑤当院の在宅訪問栄養指導の現状から考える在宅栄養管理と支援

独立行政法人地域医療機能推進機構 若狭高浜病院 栄養管理室 阿部 喜代子

⑥診療報酬改定後の栄養指導への取り組み

独立行政法人地域医療機能推進機構 若狭高浜病院 栄養管理室 川崎 真美子

⑦シトリン欠損症の児に対する離乳期の支援を経験して

福井県済生会病院 栄養部 土山 美紀

⑧授乳婦に対する食事調査結果と栄養素摂取状況

仁愛大学 人間生活学部 健康栄養学科 石黒 真理子

平成29年度 第1回在宅訪問栄養指導研修会

日時：平成29年11月25日(土) 会場：福井県教育センター

◆講演『在宅医療に求められる管理栄養士の役割』

講師 福井県在宅医療サポートセンター研修部会長

一般社団法人坂井地区医師会会長

坂井内科クリニック院長

坂井 健志 先生



急速にかつ着実に進んでいる高齢化の中、地域包括ケアシステムや地域

医療構想が策定され、在宅医療・在宅療養と自立支援が推し進められております。病院完結型医療だけでは限界であること、地域での在宅医療へシフトしている現状を交えながら、在宅栄養指導の必要性と課題について詳しく解説されました。また、管理栄養士の専門性を発揮する場として、事例を検討する地域ケア会議等での参加および助言、介護予防・日常生活支援総合事業等への参加等で、広く地域と関わりながら発言をしていく覚悟が必要であると話されました。まずは、管理栄養士自らが在宅医療の現場を知って理解し、実践現場において栄養管理の専門的な視点で関わっていく姿勢が重要とのことでした。

坂井地区では、在宅栄養ケア自立支援モデル事業を平成29年11月から来年2月末まで10症例行うことが決まっており、「坂井地区在宅ケアネット」の研修プログラムを利用して、主治医と管理栄養士が同行訪問します。栄養アセスメントを行い、対象者に応じた栄養管理・食事指導を実施する取り組みについての紹介もされました。

◆パネルディスカッション 『管理栄養士による在宅栄養管理・食事支援のための課題』

コーディネーター：(公社)福井県栄養士会名誉会長 清水 瑠美子 氏

助言者：一般社団法人坂井地区医師会会長 坂井 健志 先生

パネラー：(公社)福井県栄養士会 在宅栄養管理・食事支援センターコアメンバー

丹南地区 木下 充子 氏 「現在の状況」

福井地区 天野 美鶴 氏 「システム構築に向けて」

坂井地区 阪下 光代 氏 「栄養アセスメントフォームについて」

中央在宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 林 淳子 氏

坂井地区医師会在宅ケアネット 在宅医療コーディネーター 北川 秀子 氏



平成29年3月在宅栄養管理に関する活動を開始するため、県内5地区に「(公社)福井県栄養士会 在宅栄養管理・食事支援センター」を立ち上げました。丹南地区の木下氏は、退院時カンファレンスに参加して、切れ目のない栄養管理が実施できる体制づくりの必要性と在宅患者の入院症例から退院後の栄養ケア・フォローの必要性、所属の異なる他職種との協力体制に関する課題について現状を話され、福井地区の天野氏は、システム構築・体制づくりと情報発信について提案されました。また、実際の栄養介入のための評価やプラン・栄養アセスメントフォームについて、坂井地区の阪下氏がまとめて発表されました。主任介護支援専門員の林氏からは、他職種連携の重要性和困難さの中で食事についての専門職からの指導が必要だということを症例を通して話され、管理栄養士が在宅療養に必要なと理解していても、実際はどこの管理栄養士に依頼するといいいのか存在が見えにくく、依頼が出来ない現状であると話されました。在宅医療コーディネーターの北川氏からは、「他職種連携におけるシステム構築が近々の課題であり、栄養ケアが必要である対象者は多いにも関わらず、地域では未だ認知度が低く、活動できる人材が見えないことが問題である。在宅栄養管理・食事支援体制を確実にするためには地域の医師会等や県・市の連携体制の強化が喫緊の課題である。」と提言されました。最後に坂井先生から管理栄養士の活動への期待についての的確にまとめていただきました。

平成28年度 福井県の事業から ふくい認知症予防推進事業で冊子の作成に協力！

「ふくい認知症予防メニュー」～みんなで楽しく認知症を予防しよう～

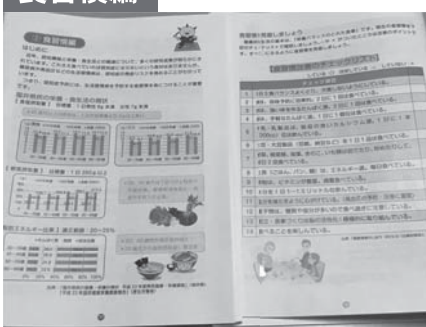


福井県長寿福祉課から上記事業への冊子作成の依頼を受け、”食習慣編”を栄養士会が担当し、平成29年3月に冊子が完成しました。

認知機能と栄養・食生活の関連について、県と福井大学医学部が共同で実施した調査や福岡県久山町研究等から、認知症予防の効果が期待される福井県産の食材を利用し、「ふくい認知症予防レシピ」として1日3食3日分9パターン of 食事レシピを考案しました。

さらに、糖尿病や高血圧などの生活習慣病は認知症の発症リスクを高めることがわかってきていること、認知症予防のためには、生活習慣病を予防することが重要であることから、福井県の生活習慣病の状況と、福井県民の栄養・食生活の現状について食塩摂取量、野菜摂取量や脂質エネルギー比などを示して、注意喚起を促しています。また、食習慣を見直すために「食習慣改善のチェックリスト」の13項目の表（日本栄養士会編）を提示しました。

食習慣編



「ふくい認知症予防レシピ」の一部紹介

<朝食>

- ・車麩のフレンチトースト
- ・野菜サラダ
- ・フルーツヨーグルト

効果が期待される食材
牛乳・乳製品・
緑黄色野菜・果物



<昼食>

- ・おろしそば
- ・豆乳茶碗蒸し
- ・越のルビーサラダ
- ・いんご

効果が期待される食材
そば
大豆



<夕食>

- ・五穀米ごはん
- ・鶏肉ロール（チーズ・梅しそ）
- ・温野菜 打ち豆汁
- ・長芋短冊

効果が期待される食材
大豆・ワマンペール
チーズ・
緑黄色野菜



◆平成29年度 ふくい認知症予防推進事業

平成29年度は健康福祉センター圏域ごとに、「ふくい認知症予防メニュー」の普及を推進

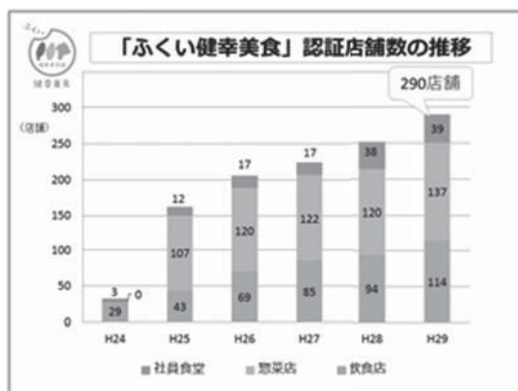
「ふくい認知症予防メニュー」の普及活動として、健康福祉センター圏域ごとの研修会や市町事業における支援への協力依頼を、福井県栄養士会が受けました。具体的には、7月～8月にかけて各健康福祉センターで開催された普及者育成のための研修会にて、認知症予防の栄養と食生活に関する講演や調理実習などを行い、認知症予防活動の推進のために協力しました。

若狭町での普及者育成研修会の様子



福井県民の健康長寿を後押しする、県認証ヘルシーメニュー「ふくい健幸美食」

福井県は共働き率が全国1位で、総務省の平成26年全国消費実態調査では、主食以外の調理食品（惣菜）の消費月額が1世帯あたり7,224円と全国トップです。同省の家計調査においても、天ぷらやカツ、フライ、コロッケ等、惣菜の年間支出金額が全国1～2位です。そこで、福井県では、平成24年度から「ふくい健幸美食」認証制度を開始し、外食や中食を利用する方が健康に配慮した食事ができる環境づくりを推進しています。



認証条件には「飲食店版」「総菜版」「社員食堂版」の3種類があり、飲食店やスーパーマーケットからメニューを募集し、応募時点で認証条件を満たしていない場合には、献立調整や調理方法、材料の変更、栄養価計算などの個別支援を県栄養士会が行っています。認証されたメニューは、

「ふくい味の週間」（毎年11月の1週間）を中心に販売を開始し、各店舗は、品質の証として健幸美食のロゴマークを弁当や調理食品に貼ったり、ポスターやのぼり旗等でPRを行っています。今年度は、県内290店舗が提供する287メニューが認証されました。各店舗とメニューは、県のホームページで確認できます。市町の保健指導や、病院・施設等の栄養指導でもご活用ください。

お問い合わせ：福井県健康福祉部健康増進課 TEL：0776-20-0352



平成29年度福井県スポーツ栄養研修会

平成29年9月3日(土)

『行動変容につながる栄養教育・栄養指導』『最近の知見 生化学から見た身体組成』
講師：高崎健康福祉大学 教授 木村 典代 先生 福井県国体推進局 五十嵐 めぐみ 氏

栄養士会では、平成25年度から、2018年福井しあわせ元気国体の開催を視野に、会員のスポーツ栄養に関する理解を深めることをめざして研修会を継続してきました。しかし、研修会の受講者からは、「取り組んでみたが、なかなか効果が出ず、自分のやっていることが正しいのか迷う」という、実践が進んでいかないという課題があがりました。スポーツ栄養学は、栄養学を総合的に活用するもので、職域を問わず現場での取り組みそのものであり、管理栄養士が基本として押さえておくべき知識は共通です。その知識を生かして、常に最新の情報を把握しておくことも求められます。

講義の中では、考えることを引き出すディスカッションやグラフ等を活用したデータの読み取り方等、より実践的な内容で、今後の業務に活かしていけるヒントが多かったのではないかと思います。

スポーツ栄養に注目が集まっていると言われる昨今ですが、1つの分野に注目が集まることはすべての栄養業務に注目が集まるきっかけでもあります。目の前の業務を丁寧にするためにも、押さえている知識は最新の内容なのか、感覚で業務をしていないのか等、私たち自身が管理栄養士として何をしなければいけないかを整理し、注目に見合った実績を重ねていくためにも、こういった栄養士会の研修会を活用していただきたいと思います。

平成29年度災害時対応研修会

平成29年7月29日（土）
仁愛女子短期大学

「熊本地震で見たこと・感じたこと ～阿蘇市、益城町での活動から～」

講師：京都府災害派遣栄養士チーム 大原 直子 氏（京都府乙訓保健所）
原 真規子 氏（京都府南丹保健所）



大規模な自然災害で被災し重大な健康危機管理が発生した場合、災害対策本部の立上げと同時に、栄養に関する支援も求められます。多様な状況に対応できる専門的知識と技術が必要で、日頃から災害時に備えた給食施設等が担う役割を整理し、施設内および施設間の協力体制の整備等も必要となります。日本栄養士会は、平成23（2011）年3月11日の東日本大震災の発生を契機に、大規模自然災害発生時の被災地での栄養・食生活支援活動を行うために「日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）」を設立。厚生労働省も災害時に機能が低下した被災自治体の保健所等で、管理栄養士を含む公衆衛生を担う医師等行政職員を中心に保健医療対策を補佐する「災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）」の養成を進めています。

今回の研修会では、平成28年4月に発生した熊本地震で、発生時から復興に向けた支援を行なったチームの実際の内容を聞くことが出来ました。熊本県阿蘇市と益城町に派遣された時の活動、現地での引き継ぎ事項や自衛隊への指示、JDA-DATチームと協力した緊急栄養補給物資の支援など、栄養・食生活支援活動を通じて被災地支援を行った状況について、詳細に説明していただきました。平常時の備えが最も重要であることや、私たち管理栄養士・栄養士は、予測以上の危機管理時にも、被災者（要配慮者等）特に患者や入所者に安全・安心な食事を提供し、栄養の指導を通じて適正な栄養管理等を実施することが必要であることを実感しました。

平成29年度「健やか親子(第2次)事業」児童福祉施設におけるクッキング講座

平成29年8月5日(土)、アイアイ鯖江健康福祉センターにて、25名の参加のもと講座が行われました。日本栄養士会の委託を受けたこの事業は、子どもの「食」を通じた健康づくりの推進のために、生活習慣病予防に役立つスキムミルクを素材とした調理実習と、「食育の計画づくり」「食育の推進」「栄養管理」等の講義と実践事例検討を行うことで、児童福祉施設給食担当者の知識や技術の向上を目指すことを目的としています。



調理実習では、家久保育園 國本 達矢氏より、スキムミルクを取り入れたピラフやスープ、サラダやデザートなどの和風と洋風のメニューが



考案され、普段の食事の一部に簡単に取り入れやすく工夫されていました。午後からは、「健康21計画の課題(減塩・野菜量増加)」を越前市 健康増進課 佐々木 智子氏から、塩分・野菜量についての現状や活動内容の説明があり、持参した味噌汁の塩分を測定し減塩について再認識できる場となりました。また、家久保育園 國本 達矢氏から「保育園での食育事例」として様々な食育媒体や活動事例の紹介が行われました。「興味深い内容で参考になった。園でも活動していきたい。」とグループワークでの様々な意見や感想もあり、各児童福祉施設での減塩や野菜量増加・食育活動等について話し合うことで、知識を深めると共に他園の栄養士との交流も深まりました。

平成29年度 (公社) 福井県栄養士会生涯教育一覧

月日・会場	時間	中項目	小項目	講師(敬称略)
平成29年 7月8日(土) 福井県教育C 4F大ホール	13:00 ～14:30	(必修)	オリエンテーション	学術研修事業部
	14:40 ～16:10	必須 2-2	栄養の指導	日本栄養士会が目指す管理栄養士、栄養士の将来像 福井県栄養士会 名誉会長 清水 瑠美子
平成29年 7月29日(土) 仁愛女子短期大学 B館1F B101教室	13:00 ～14:30	必須 1	専門職としての役割と倫理綱領	医の倫理、生命倫理、患者・障害者の権利、インフォームドコンセント、守秘義務、管理栄養士・栄養士倫理綱領 日本栄養士会 木戸 康博
	14:40 ～16:10	必須 2-3	根拠に基づいた栄養管理	各種ガイドライン、食事摂取基準、最新の栄養療法のとりくみ、各職種の取り組み 福井県栄養士会長 北山 富士子
	16:20 ～17:50	実務研修[災害時に見えたこと・感じたこと ～熊本地震(阿蘇市、益城町)の支援から～] 『災害時対応』 実務-61-101		京都府乙訓保健所 主査 大原 直子 京都府南丹保健所 主査 神原 真規子
平成29年 9月2日(土) 福井県教育C 4F大ホール	13:00 ～14:30	実務研修 『行動変容に伴う栄養教育・栄養指導』 実務-46-111		高崎健康福祉大学 健康福祉学部 木村 典代
	14:40 ～16:10	『最近の知見 ～生化学から見た身体組成～』 実務-25-101		
	16:20 ～17:50	5	リスクマネジメント 「国体における食の関わり」	5-1 栄養管理のリスクマネジメント(インシデント管理) 5-2 給食管理のリスクマネジメント(インシデント管理) 5-3 食物アレルギー(アレルゲンとなる原因食品) 福井県国体推進局 五十嵐 めぐみ
平成29年 9月30日(土) 福井県教育C 4F大ホール	13:00 ～14:30	7-1	研究方法・研究発表	知識や技術の習得・プレゼンテーション、研究デザイン、データ解析、研究会・地方会・全国学会・国際学会 仁愛大学 人間生活学部 三浦 努
	14:40 ～17:40	7-1 演	研究方法・研究発表	演習
平成29年 10月28日(土) 福井県教育C 4F大ホール	13:00 ～14:30	4-6	個人を対象とした栄養指導(栄養介入)	問診方法・食事評価、食事療法プラン提示(各ガイドライン活用)、栄養食事指導記録、行動変容・カウンセリング 福井県済生会病院 牧野 尚恵
	14:40 ～17:40	4-6 演	個人を対象とした栄養指導(栄養介入)	演習 福井県栄養士会 生涯教育WG 牧野 尚恵、伊藤 まみ 山田 友香
平成29年 12月9日(土) 福井県教育C 4F大ホール	13:30 ～15:00	4-7	集団を対象とした栄養指導(栄養介入)	健康の保持・増進のための集団栄養食事指導、疾病の予防・治療のための集団栄養食事指導、多職種(チーム)での取り組み、栄養食事指導記録 福井大学医学部附属病院 早瀬 美香
	15:10 ～16:40	4-8	栄養指導時に必要な献立と調理(栄養介入)	食品構成表・具体的な献立(社会資源の活用)、食事療養のための調理指導 福井勝山総合病院 山田 友香
	16:50 ～17:30	(任意)	認定審査の手続きについて	認定管理栄養士・認定栄養士の認定審査に関する説明会 学術研修事業部

《学術研修事業部から認定審査についてのお知らせ》

◇認定管理栄養士・認定栄養士 認定申請の移行措置期間の延長

平成21～25年度に取得した生涯学習単位の振替え申請は、平成30年度(第3回認定審査)まで有効です。上記の単位をお持ちの方は、次回の認定審査が最後のチャンスになります。

◇第3回認定審査の日程

申請受付：平成30年4月9日(月)～4月23日(月) ※当日消印有効

審査料振込み：平成30年4月23日(月) 一次審査(筆記試験) 平成30年8月19日(日)

栄養ケアステーション活動の一部を紹介します

「第39回看護展」 かんごフェア

平成29年9月3日(日)
福井市大和田エルパ

福井県看護協会が主催するこのイベントでは、福井県栄養士会が共催として協力し、骨密度や血圧測定を終了した方に、その測定値等をもとに栄養相談を実施しました。



毎年このイベントで骨密度を測定しているという方、実年齢よりも骨年齢が大きく上回り（＝骨密度が低い）「何を食べたらいいんですか？」と訴える方、健診を受診しておらずこのイベントにたまたま参加して骨密度の低さや高血圧を指摘されて不安になった方など、様々な年齢層や悩みをお持ちの方に食生活の面からアドバイスを行いました。中には栄養相談があると知って家族の健康相談に来られた方、「減多にない機会だから」と食事・栄養に関してあれこれ質問を用意して来場した方もおられ、「一人ひとりの悩みに合った栄養相談が受けられるのはいいね」との感想をいただきました。



「くすりと健康フェア 2017」

平成29年9月23日(土)
ハピリン1階 ハピテラス

くすりと健康フェアは、福井県で開かれる『福井しあわせ元気国体』のPRとともに、地域住民の健康増進、健康寿命の延伸、保健衛生への意識を高めることなどを目的に実施されました。会場では、『「本物の健康」を目指そう！お薬・健康相談会』ブースとして、

- ①血圧測定
- ②足指筋力測定
- ③脳活バランス測定
- ④健康相談

を実施し、薬や健康についての相談会の他に、管理栄養士や理学療法士による栄養や運動についての相談会を行いました。

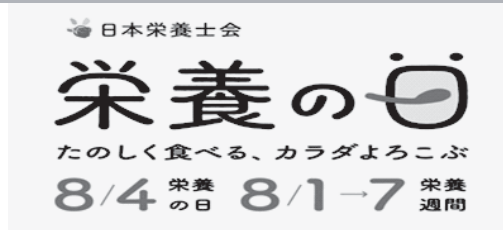
様々な年代の方々が栄養相談に来られ、適正な摂取カロリー・減塩・糖尿病・骨粗鬆症・ロコモティブシンドローム・ジュニア期の栄養・思春期の栄養など多岐にわたる相談内容を受けました。薬剤師と管理栄養士が連携のもと栄養相談窓口を設置し、情報を様々な立場で提供することができ、地域住民の健康、生活向上につながることができました。



《栄養の日の制定》 8月4日「えいよう」の日

楽しく食べて、未来のワタシの笑顔をつくる、そのきっかけの日です。

日本栄養士会では、平成29年8月6日(日)、横浜のパシフィコ横浜にて、第1回栄養の日記念式典が行われました。8/1~7の1週間は“栄養週間”として、様々なイベントや取り組みが全国で開催されました！



“栄養ってなあに～”
食生活・栄養に関心をもっといただくためのイベントを開催！

☆栄養の日に関する各分野での取り組み紹介☆

栄養の日の“ロゴ”やキャッチフレーズを用いてPRしたり、協賛メーカーからの食材（キウイ、野菜ジュース）を使った献立にしたりと、各職域で栄養の日を盛り上げました！！

▼医療職域・病院では！

栄養の日のメッセージカードと、キウイや野菜ジュースがメニューに並びました。

(福井厚生病院)



▼福祉職域・児童では！

管理栄養士が保護者にPR！パンフレットやメッセージカードを展示して、イベントを盛り上げました。（越前市 家久保育園）



▼福祉職域・老人では！

栄養の日の8月4日に、栄養とからだについてのお話をする時間を設けたり、パンフレットを掲示するなどを行いました。

(あさむつ苑)



▼福祉職域・障害では！

協賛メーカーからの食材を用いて入所者の方々や施設職員への昼食の提供、栄養に関するパンフレットなどで、食生活・栄養の大切さをPRしました。（大日園）



今 後 の 予 定

平成29年度 栄養学術講習会

日時：平成30年1月21日（日）10：00～14：30

会場：福井商工会議所 B1 国際ホール

内容：講義1「新しい糖尿病治療と糖質・脂質管理について」

講 師：福井大学医学部内科学(3) 講師 鈴木 仁弥 先生

講義2「糖尿病性腎症について」

講 師：福井大学医学部腎臓病態内科学 教授 岩野 正之 先生

平成29年度 在宅訪問栄養指導研修会

日時：平成30年2月17日（土）13：30～16：30

場所：福井県教育センター 4階 大ホール

内容：講義1「高齢者の栄養ケアUPDATE フレイルから認知症高齢者まで」

講 師：東京都健康長寿医療センター研究所 研究員 本川 佳子 先生

講義2「求められる栄養ケアの実際について」

講 師：大妻女子大学家政学部食物学科 教授 川口 美喜子 先生

報 告「在宅栄養管理・食事支援センターの取り組みについて」

報告者：(独) 地域医療機能推進機構 若狭高浜病院 管理栄養士 阿部 喜代子 氏

第13回 日本栄養改善学会北陸支部学術総会

日時：平成30年2月25日(日)10：00～

会場：ホテルサンルート小松

後援：(公社) 福井県栄養士会 (公社) 石川県栄養士会 (公社) 富山県栄養士会

(公社) 福井県栄養士会総会

日時：平成30年5月27日（日）

会場：福井県国際交流会館

福井県健康づくり提唱のつどい

日時：平成30年6月30日（土）

会場：福井県国際交流会館

平成28年度・29年度 公益社団法人福井県栄養士会組織図

名誉会長・・・・・・・・清水 瑠美子	監事・・・・・・・・渡辺 忠造・内田 伊佐夫
会長・・・・・・・・北山 富士子	
副会長・・・・・・・・加藤 みえ子	
常務理事・・・・・・・・小寺 由美	
総務部・・・・・・・・○加藤 みえ子	佐々木 智子 永田 めぐみ
学術研修事業部・・・・・・・・○池田 涼子	五十嵐 めぐみ 伊藤 まみ 山田 友香
情報コミュニケーション事業部・・○阿部 喜代子	北村 夕子 新田 和美
栄養ケア・ステーション推進部・・○木下 充子	天野 美鶴 野路 直美
地域連携・職域部・・・・・・・・○石川 仁子	國本 達矢 清水 淳子 高橋 里美
職域専門部代表・・・・・・・・(医) 阿部 喜代子	(学) 北村 夕子 (研) 池田 涼子
	(公) 新田 和美 (地) 野路 直美 (福) 石川 仁子

平成29年度 賛助会員名簿

五十音順



春夏秋冬
鮮度にこだわり
食の喜びと幸せをお届けする

株式会社アコス
FOOD COMMUNICATION

〒919-0301 福井県福井市下細江町第6号1番地
TEL(0776)41-7400(代) FAX(0776)41-7401(代)

AJINOMOTO.

味の素株式会社

名古屋支店 〒466-8554 名古屋市昭和区阿由知通2-3
TEL(052)735-8500(代) FAX(052)733-3215

北陸支店 〒921-8042 金沢市泉本町1丁目8番地
TEL(076)243-5211(代) FAX(076)243-0255

ホームページ <http://www.ajinomoto.co.jp/>



株式会社
石川コンピュータセンター
お問い合わせ先 ☎ 076-268-8315

栄養管理システム
HOSPITAL SOLUTION
PC-栄養
Version.4

献立・食数の管理からNST業務
に至るまで強力サポート!

ポットのお湯(80℃以上)で溶ける低ゼリー強度寒天。
ゼリーやペーストなど、幅広い用途にご利用いただけます。

介護食用ウルトウ寒天

寒天のトップメーカー
伊那食品工業株式会社
名古屋支店/愛知県小牧市小木東1-49 TEL 0568-75-6660



真心のこもった料理をより多くの皆様へ

イフスコヘルスケア株式会社

医療・福祉施設等給食業務請負
(医療関連サービスマーク認定・日本メディカル給食協会会員・ISO14001認証)

本社 〒530-0001 大阪市北区梅田三丁目3番20号
福井事務所 〒910-0006 福井市中央3丁目3-21 福井中央ビル3階
Tel(0776)97-8156 Fax(0776)97-8157
ホームページ <http://www.ifsco-hc.co.jp>



選んでのせてサクッと
盛り上がる!

見て! さわって!
果盛り!


短期
レンタルプランも
ご利用ください

健康イベントに! メタボ教室に! 特許取得第3960391号
新しい【体験型・参加型】の栄養指導システム!!

食育SATシステム

ICタグ内蔵フードモデルとパソコンを使った食教育媒体

株式会社 いわさき 金沢営業所 フードモデルドットコム 検索
石川県金沢市京町32番22号 TEL:076-251-1418 FAX:076-251-1468



食文化の未来を創造しつづける

尾家産業株式会社

東証一部上場 コードNo.7481

福井営業所
〒918-8237 福井市和田東1-1903
TEL(0776)23-3371 FAX(0776)23-3375
URL:<http://www.oie.co.jp>
サンホーム・燦宝夢・サンブラザ印 総販売元 外食産業食材専門商社

鯉削りぶし JAS認定福井工場

国産乾物・国産水煮、冷凍野菜

鯉節・削りぶし・昆布・椎茸・煮干・わかめ・ひじき・海苔
胡麻・干瓢・たけのこ・れんこん・ぜんまい・わらび・牛蒡
ふき・きくらげ・舞茸・エリンギ・しめじ他

諸国乾物問屋 株式会社 太田屋

福井市高柳1丁目1401番地 tel.0776-53-2713
ホームページ <http://www.katuobusi-otaya.com> 「鯉節 太田屋」で検索

大塚製薬株式会社 福井出張所

〒910-0005 福井県福井市大手2-7-15
明治安田生命福井ビル3階
TEL(0776)26-3005(代表)
FAX(0776)27-0590

鮮魚・冷凍魚の加工相談、取扱商品についてなど、お気軽にお問い合わせください。
弊社 営業スタッフがお話を伺いいたします。

ご注文・お問い合わせ 平日9:00~17:00
TEL. 076-259-1489



安心・安全・新鮮な
業務用一・二次加工魚 **海幸フーズ**

食を通じて豊かな生活に貢献する

- (株) 紙安 (水産物卸)
- 紙安産業(株) (給食食材卸)
- (株) シーライフ (水産加工品製造販売)
- (株) 紙安クッキング (食堂経営・給食サービス)



安心安全な食べ物を
ひとつひとつ心を込めて
手づくりで作っています

公楽商店
KOURAKU SHOUTEN

918-8057 福井県福井市加茂河原1丁目9-10
Tel:0776-35-4723 Fax:0776-35-3603
www.kouraku-s.com



業務用・治療用食品と情報サービス
Confidence (信頼) の.....“C”
Heart (真心) の.....“H”
Expert (専門) の.....“E”
Foods (食品) の.....“F”

株式会社 サン食品

〒918-8161 福井市銚ヶ崎町25-58 ホームページ <http://www.sunsyokuhin.co.jp/>
TEL(0776)38-3830(代) FAX(0776)38-2985 メールアドレス info@sunsyokuhin.co.jp

業務用総合食品問屋

塩田食品株式会社

本社 〒918-8578 福井市円山1丁目405
TEL: 0776-54-6767 FAX: 0776-54-6633

支店 〒914-0053 敦賀市舞崎町2丁目19-4
TEL: 0770-25-1155 FAX: 0770-25-1239

給食食器・耐熱食器 企画販売

株式会社 下村漆器店

住所: 福井県鯖江市片山町8-7
TEL/FAX: 0778-65-0024



SOMPO リスクアマネジメント

年間10万人以上の保健指導実績

【事業内容】

特定保健指導
高齢者訪問指導
糖尿病性腎症重症化予防支援 等

当社事業の詳細はホームページにてご覧ください!

健康指導・相談事業: <https://sompo-rc.co.jp/>

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-2-3
TEL (03) 5209-8867 FAX (03) 5209-8509



成功のパートナー
タニコー株式会社
福井営業所 TEL:0776-53-3071
FAX:0776-53-3105

おかげさまで
創業70周年。
URL: www.tanico.co.jp



TERUMO

Innovating at the Speed of Life

昨日より今日、今日より明日。
テルモは、世界中の医療現場と、患者さんのために
いちにち寄り添い、新たな価値を創造しつづけます。

テルモ株式会社 www.terumo.co.jp



EDEL

2017 collection

この心地よさ、
誰にも譲れない

TUK 東洋羽毛北信越販売株式会社 0120-365021



NAKANISHI

業務用厨房機器総合メーカー
株式会社 中西製佐所

NISSHIN
oillio

パーフェクトシリーズ
トゥフィールシリーズ

日清オイリオグループ(株)
ウエルネス 食品営業部

TEL03-3206-5636

乳類の製造および販売
日本酪農協同(株)
北陸営業所

〒910-0837
 福井市高柳2丁目1301番地レインボービル6階
 TEL 0776(57)1201

VCRESC
CP 10 シービーエーゲン
 コラーゲンペプチド
 10,000mg (1本125mL)

♡ 12種類のビタミンと鉄・亜鉛・セレン、コエンザイム Q10も同時に補給
 ♡ 毎日続けて飲める、美味しいミックスフルーツ味
 オレンジ、リンゴ、パイナップル、ピーチ、バナナ

NÜTRI: ニュートリー株式会社
 東京支店 〒104-0033 東京都中央区新富1-1-5 THE WALL 4F
 TEL.03-3206-0107(代) FAX.03-3206-0108 e-mail info@nutri.co.jp <http://www.nutri.co.jp> 02.28.08 CA

必要なのは、コラーゲンでした



使い易く、衛生的、働く人に喜ばれています。
ハセガワの木芯入り軽量まな板

抗菌かるがる

長谷川化学工業株式会社

〒276-0022 千葉県八千代市上高野1384-5
 TEL.(047)482-1001(代) <http://www.hasegawakagaku.co.jp/>

日本調理機株式会社・株式会社AKO機器取扱店

総合厨房設備・リフト設備設計施工
 厨房機器・食品加工機器・冷凍冷蔵庫
 食器類・調理用具・住宅機器販売

畑中厨房株式会社
 代表取締役 畑中 博

〒918 福井市成和1丁目906 TEL(0776)24-1477 FAX(0776)22-3268
HATANAKA CHUHO CO.,LTD.

人材派遣・有料職業紹介

Focal Trust

〒918-8231 福井県福井市問屋町4丁目1207
 TEL : 0776-24-0565
 URL : <http://www.focaltrust.co.jp>

業務用厨房機器 総合メーカー

fujimak

株式会社フジマック www.fujimak.co.jp/
 福井営業所: 福井市和田東2-1527 Uビル1-B TEL.0776-27-5799

北陸電力株式会社

新調理システム体験車
「オーロラ号」

ご用命・お問い合わせは
 福井支店営業部営業担当
 TEL 0776-29-6982
 FAX 0776-29-6981 まで



OKUNOS 栄養支援

茶碗蒸し 1個(75g)中 エネルギー 80kcal たんぱく質 5g

温めて、もっとおいしく!
 栄養価が高く、食べやすい

かつお風味 たい風味
 ほたて風味 まつたけ風味

ホリカフーズ株式会社
 ホームページ: <http://www.foricafoods.co.jp>
 メールアドレス: okunos@foricafoods.co.jp

新潟営業所
 〒949-7411 新潟県魚沼市大石59-1 FAX 025-794-4404



meiji 株式会社 明治

人も地球も健康に
Yakult



福井県栄養士会に入会して共に活動しましょう!

(公社) 福井県栄養士会は、管理栄養士・栄養士の皆様が職業倫理を遵守した業務を行っていくために必要な新しい情報、良き指導者、語り合える仲間を提供しています。

社会に貢献できる管理栄養士・栄養士を支援する専門職能団体である当会に、ぜひ入会されますようご案内申し上げます。

平成30年度の新会員を募集しています

1 平成30年度会費内訳	既会員	新会員 (再入会)
福井県栄養士会入会金		1,000円
福井県栄養士会会費	8,000円	8,000円
日本栄養士会会費	6,500円	6,500円
合 計	14,500円	15,500円

2 納入方法について

(1) 会費は年会費 (4月～翌年3月) ですが、年度途中からの入会も可能です。下記の指定口座にお振り込みください。

- ① 郵便局 00760-1-29715
- ② 福井銀行 本店 0715691

※平成28年度より、福邦銀行からの振込は行っておりません。

(2) 次年度継続会費は、ハガキ様式のコンビニ専用振込書が日本栄養士会から送付されますので、お近くのコンビニから納めてください。別途手数料108円は自己負担になります。

(3) その他の方法での納入を希望される場合は、福井県栄養士会事務局にお問い合わせください。

3 その他

(1) 会員証について

新会員の方には会費納入が確認され次第、日本栄養士会から会員証が「栄養日本」に同封されて届きます。

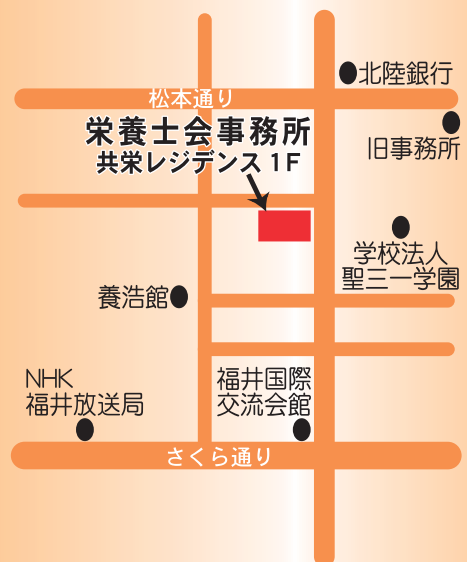
既会員は今年の会員証を引き続きご利用下さい。

(2) 個人情報の変更について

姓、住所、勤務先等の個人情報の変更がある場合は、「会員登録事項変更届」(本会ホームページからダウンロードできます)に記入の上、福井県栄養士会事務局にFAXで送付してください。

(FAX : 0776-27-5999)

栄養士会事務所のご案内



業務曜日：月・火・木・金
(定休日：水・土日祝祭日)
業務時間：9:30～16:30

栄養ふくい 第7号

- 編集 (公社) 福井県栄養士会
情報コミュニケーション事業部
阿部 喜代子
北村 夕子
新田 和美
- 印刷 マイプリントコーポレーション株式会社